

チャイルドライン千葉 第12期受け手ボランティア養成講座

【講座内容】 (第1回～第3回：公開講座)

第1回「子どもの今 生きづらさを抱える子どもたち」 2月21日(木)

講師：橘ジュン氏 (NPO 法人 BOND プロジェクト代表)

第2回「子どもの権利 基礎と擁護」 3月6日(水)

講師：中溝明子氏 (弁護士、NPO 法人子どもセンター帆希副理事長)

第3回「思春期の発達を学ぶ 男の子の性・女の子の性」 3月28日(木)

講師：鶴岡利江子氏 (思春期保健相談士、千葉県助産師会)

第4回「チャイルドラインとは 歴史・理念・組織」 4月11日(木)

第5回「チャイルドラインの傾聴とは」 4月25日(木)

第6回～第8回「技法とロールプレイ 傾聴ワークⅠ～Ⅲ」 5月9日・23日・6月6日(木)

第9回～第11回「オリエンテーション・現場体験研修」 6月20日(木) 7月～8月

【目的】 安定した傾聴ラインを実施するために、受け手ボランティアを増やす。

チャイルドラインを知らせる目的を持って、公開講座を実施する。

子どもを理解する大人を地域に増やす。

【アンケートから】

- ・ BOND の千葉支部を作れたら良いなと思いました。地域には子育て・若年層を暴力から守る団体や人がたくさんいます。チームでという考え方がすごく大切だと思いました。具体的なかたちを教えていただき、とてもありがたかったです。
- ・ 橘さんの言葉は、ひとつひとつ、とても聞きやすく心に届きました。女の子が「通訳として側にいて」と言ったことが良く分かります。子どもたちの声を聴くとき、巻き込まれず距離を保ち、立ち止まる時間を与えることができるような受け手を目指していきたいと思います。
- ・ 「権利」という言葉について改めて考えることができました。子ども一人一人が自分らしく生きていくことができる社会でないといけないと思いました。大人の関わりが重要であるという事も改めて考えさせられました。
- ・ 中学や高校の保健の授業でも性の話しは聞いたのですが、今日のお話の方がずっと分かりやすく、大切なことを学びました。自分を大切にすること「性」とは生きることであることを忘れないようにしたいです。

【成果と課題】

- ・ 子ども支援に携わる大人が増えた。
- ・ 子どもの今に関心のある方に活動の場を提案することができた。
- ・ 子どもの現状を多くの方に知っていただき伝えることができた。
- ・ 平日で4カ月間ほどの開催のため受講者が限られてしまう。今後は開催日および期間やプログラム構成を工夫したい。

